

ウズベキスタンから医師等が来阪 日本企業の血液管理・輸送技術を学ぶ

JICA の企業向け支援制度「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」(※)を活用し、中央アジアのウズベキスタンにて血液保管・輸送のビジネス化に向けた調査を実施中の株式会社大同工業所(大阪府東大阪市)は、9月11日(月)より同国関係者3名を日本へ招へいし、工場の視察等の機会を提供します。

この招へいプログラムは、事業の一環として、9月11日(月)から15日(金)まで、ウズベキスタン国側の協力機関である「ウズベキスタン共和国血液センター」(保健省傘下)より医師と技師の計3名を招へいするもので、東大阪市の同社工場や大学、血液センター等で視察や協議等を行います。

ウズベキスタンでは、輸血等に利用する血液製剤の適温管理・保管や輸送などに課題を抱えており、株式会社大同工業所が持つ冷温技術を生かす潜在的ニーズがあることから、同社は同国の課題解決にも貢献するビジネス展開を目指しています。同社及びウズベキスタン関係者双方にインタビュー等も可能ですので、以下ご参照頂き、ぜひ取材をご検討下さい。

(※)中小企業・SDGs ビジネス支援事業:SDGs を含む社会課題を抱える開発途上国でビジネス展開を目指す日本企業を支援する事業で、企業からの提案に基づき実施。

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/activities/index.html

(1)取材について

・取材可能日時：

9月11日(月) 10:00~11:45 または 9月15日(金) 10:00~16:00

(於：株式会社大同工業所本社工場内(東大阪市楠根1丁目6-45))

・言語：日本語でご取材可能(日露通訳あり)

・取材のお申込みは9月7日(木)16時まで以下問合せ先にご連絡をお願いします。

(両日のプログラム)

9月11日(月)：

10:00~12:00 (講義) 本邦研修開始にあたってのミーティング

13:30~17:00 (講義) 日本の血液事業の概要

9月15日(金)

09:30~12:00 (実習) 株大同工業所楠根工場・納入実機試運転確認

13:00~16:00 (発表) 終了にあたってのミーティング

(2)株式会社大同工業所について

冷温技術を用い、産業用機器、医療用機器、防爆機器、水処理試験機等の製品・サービスを提供。2023年7月にはヨーロッパ品質研究協会（ESQR）から品質管理の技術を認められ「International Diamond Prize Excellence in Quality 2023」を受賞。

JICAの企業向け支援制度を活用し、2023年4月から「ウズベキスタン国血液管理体制強化のための血液保管・輸送機材の普及・実証・ビジネス化事業」を実施中(2025年2月までを予定)。

(株式会社大同工業所 HP) <http://www.daido-ind.co.jp/info/>

(参考)事業概要図(採血から輸血までの流れ)



本件に関する問合せ先

独立行政法人国際協力機構 関西センター (JICA 関西)
 企業連携課 (担当: 穴山)

TEL 078-261-0397

E-mail: jicakansai_bizmail@jica.go.jp